

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
四日市市	楠地区	令和4年3月15日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	125ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	90ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	40ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	20ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	—
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・北五味塚・小倉: 農業者の高齢化と後継者不足に加え、用水・排水兼用の水路になっているため、不自由が多い。また、農業に無関心な人も多い。北五味塚においては、出合い作業等の参加者が少ない。
- ・北一色: 市街地の住民の農業に対する理解が少なくなっている。
- ・本郷: 水路に問題はなく、農地の集約化は進んでいるものの、後継者不足である。
- ・南川: ほ場整備を行っており、パイプラインも整備されているものの、後継者不足である。
- ・北五味塚・小倉・北一色においては、水田では水稲のみを作付けしているが、米価下落・米需要低下により、他の作物も生産も検討していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の農地利用は主に中心経営体が担い、集約化を進めていく。
耕作しやすいほ場に改良していくことで、他地区からの入作等、新たな経営体を呼び込む準備をする。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、820筆、491,845㎡となっている。</p>
<p>地区の営農方針 当プランをもとに、集落ごとの取り組みについての話し合いを継続的に実施する。 用排水路の整備(パイプライン化)については、勉強会の場を設け、地区としての方針を定めていく。</p>
<p>基盤整備への取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の結果をもとに策定した地区の方針に沿って、取り組んでいく。 ・作業性向上のため、本郷で進めている大区画化(畦畔除去)を、他集落でも実施していく。 ・市補助金等を活用し、機械・設備等の整備を行う。
<p>作物の生産方針 米の代替作物として、土地に合った作物の生産を検討する。</p>
<p>地域住民との相互理解 農地の有する多面的機能や営農活動について、地域住民に関心を持ってもらうような取り組みを検討していく。</p>